

7月14日神戸新聞には兵庫陸上競技選手権大会男子走高跳で優勝した武政選手の写真と取材記事が掲載されました。体



育科寮生の取材をしてくれた尾藤記者による記事です。他校の先生にお会いしても、寮生の記事は良かったという感想をお聞きし、寮生の頑張りが少しは周囲に理解されたと思いました。まだまだ始まったばかりです。代替大会だけでなく、いろいろなところで社高校生の活躍を見る機会を作ってほしいと思っています。

さらに15日のニュースを見ていると文部科学省から「高校普通科3学科に再編案」が出たとあり、16日新聞には「普通科」「学際融合科」「地域探究科」新設の文字が出ていました。内容を読んでいると現在普通科で行われているものをもっと特色を鮮明にして取り組もうとするものです。総合的な探究の時間での取扱い以上

の内容を求められているようです。早ければ2022年度新設とありますから早急な準備が求められそうです。高大連携などますます進めていかねばならないことはわかりますが、学力保障に係る基礎学力を固める授業も必要で、両立していくには相当な発想が必要です。基本的には自分たちで考え、課題解決の道筋をつけていく、また地域との連携や小中高大の連携を進めることによって教育の継続性を図っていくとする方向性です。やらねばならないことはどんどん増えていきそうです…。

また、少子化の影響は高校教育にかなり影響してきます。「生徒数が減る→クラス数減→教職員減→部活動・学校行事の衰退→魅力減→人気がなくなる→定員割れによるクラス数への影響大」という負のスパイラルが始まります。兵庫県の生徒を兵庫県で育てる、地域の子供たちを地域で育てるというのは当たり前のことであったのですが、他府県が全国募集を始め生徒の受け入れをできるようにしたり、県境のところではスクールバスを出して生徒を集める県外の私学に流出したりしていくことで、地域で子供たちを育てることが難しくなってきた地域も出てきています。地域の活性化を図るには、マンパワーは絶対に必要です。国では地方の国公立の定員を増やし一極集中を緩和していくとする動きもあるようですが、どこまで浸透していくかわかりません。少子化傾向に歯止めをかけていかないと機械化やAI化だけでは解決できない問題が山積みしてきそうです。難しい問題ですが、住みやすいまちづくりとともに働きやすい環境を整えていくことが要求されています。少しずつでも理想に近づいていけるよう努力し、生徒たちが社会を担う頃にそいつた環境づくりができるように今できることに取り組んでいきたいと思いますし、1年生の総合的な探究の時間の加東市とのコラボで地域活性化政策を考え提案する作業はこういったことを含め考えてほしいですね。

17日期末考査が終了しました。変則的な1学期は、あと2週間で終了します。感染者数はどの地域も増えており、高校生にも感染者が出てきました。部活動での対外試合も活性化し、移動が多くなる中で、感染予防対策を怠らないようにしなければなりません。その第一歩は、手洗い、うがい、マスク着用です。誰でもできることを普通に習慣づけておけば、かなり感染予防ができるはずです。今一度気を引き締めて生活してください。

18日、19日はサッカーの県総体代替大会が本校で男女とも行われました。18日は女子。初戦から昨年度2位の姫路女学院高校(旧兵庫県播磨高校)と対戦。ゴールキーパーのファインセーブもあり、前半を0-1

で凌ぎましたが、後半疲れが見えチェックが甘くなったところを突かれて、得点を許し、0-4で敗戦。攻撃の糸口を見つけられず、防戦に終始しましたが最後まで意地を見せ頑張りぬいてくれました。3年生にとっては今年最初で最後の公式戦。思いのこもった試合を見せてくださいました。また無



観客試合だったのですが、ベンチに入った選手たちの声援は選手たちに大きく届いたことだと思います。暑い中の試合でしたが会場校としての仕事もあり、関係者の皆さんのご協力に感謝申し上げます。一方男子の試合



は19日。この日は午前中のため、他の部も活動しており、かなりの混雑でしたが、駐車場入り口で立ち続けてくれた生徒、教職員のおかげで大きな混乱なく大会を進めることができました。私もこの日は9時くらいに学校についたのですが、入り口で止められ、「どちらの学校ですか」と質問されたので、「校長です」と答えました。生徒たちも勇気をもって1台1台に対応してくれている様子が伝わり安心しました。試合は、加古



川北高校との対戦です。東播磨地区で何度も対戦しており、チーム事情はよくわかっていると思います。前半は膠着した状態の中、こぼれ球をうまく拾って1点を先制。前半終了間際にコーナーキックからのシュートに対して相手ディフェンスがゴールエリアでハンド。これが故意という判断で相手選手が退場。PKを確実に決めて前半を2-0で折り返しました。後半開始早々は相手の猛攻にあい、受けに回ったのですが、何とか耐え凌ぎ、試合終盤交代カードをうまく使って元気な選手を投入すると、足の止まった相手の裏をうまくつくサッカーができ始め後半だけで3得点。5-0の大勝で試合終了。この日も非常に暑い中でしたが、最後までよく走りました。次に向けて気持ちを切り替え、ベスト8まで勝ち進んでください。

保護者から通学路の安全の件で問い合わせをいただいた件を報告しておきます。「175号線沿いの歩道を自転車で通学しているが、草が伸びすぎて非常に危ない、何とかならないか」という件でした。道路を管理しているところに問い合わせをしなければならないのですが、175号線は国道のため明石にある維持出張所に問い合わせをかけなくてはなりません。私も3年生との面談で、除草の件や危ない突起物の話を聞いていましたので、現地視察を兼ねて見に行き、確認後出張所に電話したところ、丁度、西脇トンネル付近を期間を区切って除草中のことでした。また、突起物の話も伝えたところ、実際に確認しに行かれるところで、連絡してみるものだということを改めて感じました。175号線と言っても明石から先は舞鶴市まで伸びていますので、ひとえに管理といっても大変です。しかしながら通学路となっているところ、もしくは通学路になりうるところは生徒の安全がかかっていますので、対応をしていただかなければなりません。管理するところによって、国・県・市と行政機関が変わるので、それぞれのところへ連絡し、速やかに対応していただきたいと思っています。お気づきの点がございましたら学校までご連絡いただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。さらに校門のところで立っていると、白バイが横断歩道の安全確保に来られ、生徒たちの横断する際停止しなかった車を指導していました。社高校の前の横断歩道は、信号がなく、バスを降りた兵庫教育大附属中学校の生徒と本校生が横断する際に車が止まらないと横断できません。一昨年来、横断をしようとする歩行者がいる場合は車が止まらなければならないという点について交通指導が強化されてきました。(実際には交通ルールで以前からあるのですがなかなか守られていなかったため強化された。)私自身も他のところで気を付けるようにしているのですが、見落としたり、急に前の車が止まつたりと危ない場面もあります。特に朝は急いでいる車が多いので、混み合うと大変です。ゆとりをもって行動し、交通安全には十分に気を付けていましょう。生徒の皆さんも自転車の運転にはくれぐれも気を付けて歩行者優先でお願いします。



最後に生徒会活動を紹介します。期末考査前に生徒会から「九州豪雨におけるボランティアをしたい、については不足しているものを送りたい、募金も送りたい」との相談を受け、「是非実施してほしい」と伝えました。まずは不足物品からです。その際、「どこに送るか、何が必要かを調べて声をかけよう」とアドバイスしました。私自身 2004 年の豊岡豪雨災害と新潟中越地震の時に物資を集めて送る際、クラスの生徒にさせたのですが、問い合わせをかけると新潟は足りているのでいらないといわれ、豊岡の高校に直接送ることを決め、段ボール箱一箱だけでしたが、送ったところ大変喜ばれたという経緯を話したところ、生徒会でプリントを作成し、17日と20日支援していただける物資を集めることになりました。子どもが遊ぶおも

ちゃなどもたくさん集まり、仕分けをして送る作業を20日生徒会室で生徒会がやっていました。自分たちで声をかけ、こういった形でのボランティアもあるということを実感してもらえたことは大変嬉しいことです。これを機に、災害が起こったらその地域に連絡を取ったり、調べたりして足りなくなっているものを知り、社高校として協力できるよう声をかけるシステムが定着すれば、素晴らしいことだと思います。こういった気持ちを大切にして助け合う、寄り添う気持ちを持ち続けていきましょう。生徒会の皆さん、そして協力していただいた皆さんありがとうございました。(熊本県八代市に段ボール6箱分送付しました。)

今週は4連休もあります。新型コロナウイルスの感染者も増えてきて、県外での教育活動自粛の通知も出されました。部活動においては、県内での活動が主となります。今は我慢の時。感染拡大を防ぎながら、経済活動を行っていく難しさと日々向き合っていかねばなりません。こういった情報も7月10日には8月1日からの県外合宿可能という連絡だったのが、17日には兵庫県の感染者の増加を受けて自粛となりましたので、今後の状況によっては週ごとに変わってくるかもわかりません。学校での感染も全国的には認められてきていますので、要注意が必要です。一人一人が感染防止対策をしっかりとし、活動自粛の範囲を狭められるようにしていきましょう。よろしくお願ひします。